

(様式6-1)

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	美しい沿道景観形成のための効率的維持管理手法の調査・研究
助成事業者	(一社) 鹿児島県造園建設業協会
代表者	(会長) 井上恒治

### (目的)

指宿スカイライン沿道の草地及び樹林を、自然界の摂理に適った維持管理手法を案出することで維持管理費用のコスト削減を図るとともに、地域本来の特性を持つ美しい道路景観を創出する。

### (概要)

#### 1. 草地の効率的育成管理

2年間の試験施工の結果、以下の育成管理手法を活用して継続的に維持管理することで、低茎草地への移行及び野生草花の出現につながることを実証された。

- ① 高茎の草本類に生理的ダメージを与えるための年3回の草刈り作業。
- ② 野生草花の繁殖を増進するために種子や有用植物を借り残す選択的草刈り。
- ③ 高茎の草本類や特定外来種の生育を根絶するための選択的除草剤散布。

#### 2. 継続的草刈り作業による作業歩掛の変化

草刈り及び集草作業については、草刈りを2回行った初年度の合計員数と3回行った2年目の合計員数とほぼ同数であった。加えて、作業の効率を左右する刈り草の処分量は2年目には半減し、今後さらに減少していくと考えられる。

このことから、年3回の草刈り作業を続けることが維持管理費用のコスト削減につながることを実証された。

#### 3. 里山の育成管理

かつての里山を相対照度20%程度に間伐し、野生花木型林床林の復元を試みた。除伐1年後の測定では20~25%で、併せて再萌芽枝のもや分けを行った。1年目はわずかしか開花の見られなかった指宿スカイラインのシンボルともいえるオンツツジに2年目には多くの花芽が確認され、5月には多くの開花が予測される。一方、薬草・山菜の調査及び補植については、予算を草刈り作業費の不足分に充当した。

#### 4. 指宿スカイラインの持つポテンシャル

一連の試験施工の成果を活用することで、沿道の人工林・竹林・里山・野生草地等地域の特性を持った景観資源を活用した整備や、錦江湾や桜島などの展望のための視点場創りで、観光かごしまの観光道路に相応しい景観創出が期待される。